

10

OCT 2022
VOL.156

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-denshin

Let's コミュニケート!

美味しい季節がやってきました

きおく画伯

良問できました

社長と行こう! こっそり食堂

本日のランチがオススメです

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶



特集

ありがとう滝信四郎

【特集】

『ありがとう たきのぶしろう 滝信四郎氏』

名古屋で繊維問屋を経営する滝家は、東海道の景勝地蒲郡の府相海岸に別荘を持っていた。五代目の信四郎氏は、従業員の三村三時が病魔に見舞われたとき、蒲郡の地で静養するように指示し、その後自らも過労から静養に蒲郡に来た。蒲郡に滞在した滝信四郎氏は「こうした景勝地をこのままにしておくのは惜しい。何とかしなければ」と思ったそうである。

大正元年
常磐館開業



多くの文豪に宿泊費を取らず滞在させた。

菊池寛『火華』

…略…蒲郡の海! それは、瀬戸内海の海のやうに静かだ。

昭和七年
竹島橋 寄進

日本七大弁天を祀る八百富神社は竹島にあったが竹島には永代橋がなく開帳の時のみ木橋が架けられていた。橋を架ける渡客調査を耳にした信四郎氏が橋の寄進を思い立ち町当局に申し出た。



胸像 海辺の文学記念館

低い山脈に囲まれ、その一角が僅かに断れて、伊勢湾に続いて居る。風が立つても、白い波頭が騒ぐ丈で、岸を打つ怒濤は寄せては来ない。…この後に竹島や常磐館の描写も続く…

川端康成、高浜虚子、与謝野晶子、山本有三、谷崎潤一郎、三島由紀夫などによっても蒲郡の海や竹島の素朴な美しさが作品の中で描写されています。



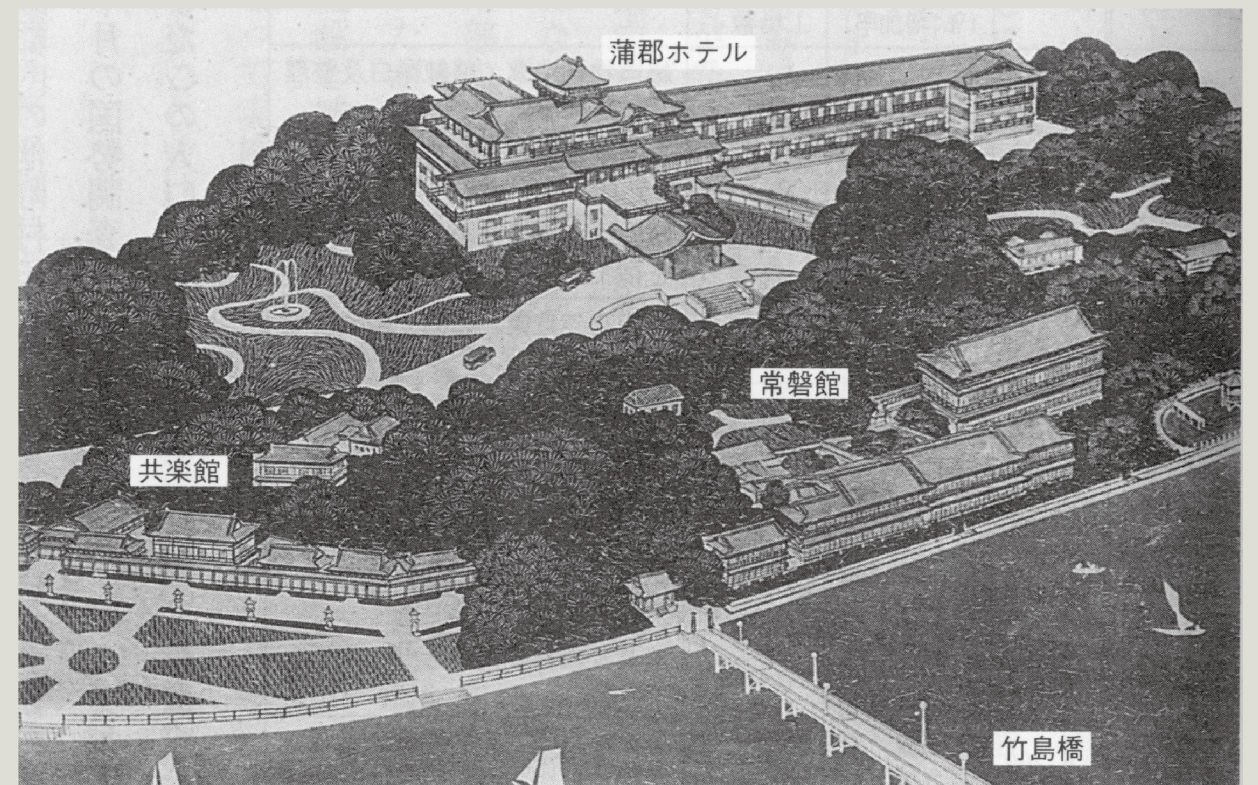
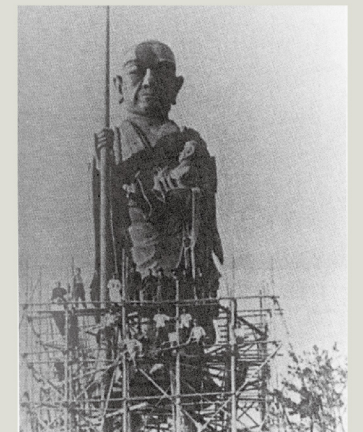
昭和九年
蒲郡ホテル



そのころ大蔵省預金部が外国人向けホテルの増改築のため低金利で地方公共団体に融資を始めた。蒲郡町は第一に内定を受けたがそのころの町財政は起債30万円に対し、収入が年間17万8,000円しかなく、町長が名古屋の滝家に赴き常磐館の土地建物を担保にする許可を得、融資にこぎつけた。建設費は大蔵省からの借り入れ30万円と滝家らの寄付金10万円を資金としたことである。

昭和12年
子安弘法大師像

信仰が深く、子供に恵まれなかった信四郎氏は三谷に子安弘法大師像を建立。像の背丈は空海の世寿が62歳であったことにあやかり62尺、枳杖の長さは竹島の標高に合わせ22m、抱いている子供の丈は5m、耳たぶの大きさ1m、目の長さが1mと言われている。



蒲郡ホテルが完成すると、東海道線に沿い瀬戸内型の景勝地で東京に近い国際的な観光地としての地位を築いた。

まさに蒲郡の観光開発の祖ともいうべき人物・滝信四郎氏。
蒲郡市民として「ありがとうございました」と伝えたいと思いました。

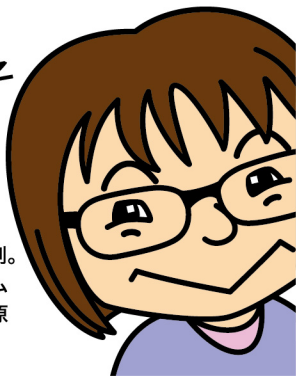
参考文献:蒲郡市史 本文編3近代編・民族編より

ミデコラム

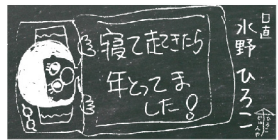
今月のにわか編集長
水野浩子

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第122回

高額ポチポチ

10日ほど入院していた間、暇すぎてポチポチしました。退院したら、秋田犬を飼うことになっていたの、その準備のもの。白い毛に映えそうな赤いハーネスと赤いリード、ポチポチ。秋田犬(日本犬)用のドッグフードとビタミンが入ったドッグフード、ポチポチ。犬のトイレ、ポチ。犬の牛乳、ミルク、ポチポチ。ほかに犬のものポチポチ。

そして、一番高額だったのがルンバ。そうあのロボット掃除機です。入院する前から「そろそろルンバ?」と言いながら犬と戯れるCMで洗脳されてきた脳に入院生活の中、テレホンショッピングの「今日がこのお値段最後です。上位モデルのルンバが5万円引き!」にうとうと眠りについていた私はがばっと起き上がり、次の日になる前にポチと。

この何か月前にルンバを購入した姉が毎週のようにルンバが活躍した後の埃の写メを送ってきたのだが(なぜに?)その気持ち今わかりました。写メ送るまではしないけど。今まで掃除機では入らずクイックルワイパーでとりあえずやっていたベッドの下もルンバがウィーンと入って行く。最初にやったときは「この埃の中で生活していたのね」って感じ。難点はやはり音は結構うるさいなあですが、普通の掃除機もうるさいですよ。

すね。犬の抜け毛のことも考えてのルンバ購入でしたが今の段階(2日に1回かける)でまああまの犬の毛がとれています。これで換毛期になったらどうなるんだろうね?とルンバに聞いても返事はありませんでした。あたりまえか!

にわか編集長コメント

高額ポチポチとタイトルをつけましたが私レベルの人間の高額です。世の中にはポーンとブランドものなどを買える人もいるんですよ



第122回

スポーツって素晴らしい!!! (※見る専門)

蹴球小僧を近くで見えてきては、14年が過ぎた。兄弟はそれぞれのスタンスでサッカーを楽しみ続けているわけのだが、一番「うらやまし」く思うのは、まあたいいの小僧たちはクラブなり部活なりで競技を続けていくので、かつてのチームメイトや対戦相手と節目節目に再会できたりすること。だから成長とともにどんどん友達が増えていく。

久しぶりの名前を子供たちの口から聞くのも楽しい。ついつい「へえ、喋った?元気そうだった?」と詰め寄ってしまう。高校の部活でできた友達がかつての仲間と同じ中学出身だったりして輪が広がるパターンも



あり。いいね。アオハルだね。

さてさて、選手権予選、リーグ戦と試合続きの次男。仲良しの双子ちゃんが東三河で一番賢い子達が集まっているであろうJ高校サッカー部なのだが、この双子ちゃんが、赤シャチ豊橋スクール(小学校低学年)時代の仲間で、中学のクラブチームで再会。その彼らからJ高校のサッカー部でもかつての赤シャチ仲間1名、部活は違うが同じく赤シャチ仲間2名と再会した!…と驚きの報告があったらしい。…おいおい偏差値がおかしくないか?豊橋スクール。当時のメンツの約半分がJ高校で…ま、まあよい。なんにせよ、その手の話は「嬉しさ」を親子で共有できる。そして走るフォームとかボールを持ってる時のクセとか、意外に私も覚えてるもので「ああああ。大きくなって(涙)」と気分は母を超えておばあちゃんだ。

そこいくと、さすがの長男。(長男の)インスタに懐かしい名前を見つけて「●●くん、今もサッカーしてるの?」と聞くと「あー、あいつなら今ラッパーだよ」…ラ?…(思わずご両親の顔が浮かぶ)

きおく画伯

第75回

お題 孫悟空(ドラゴンボール)

描いた人 大河内さん

勘の良い方には分かりそうなギリギリのラインで攻めてきました、大河内さん絶好調です!

類友…という言葉がありますが、兄の背中を見て育った弟の将来の夢は「地方公務員」次男、いろいろ学んでるな。

- #弟を買い物に誘う兄
- #次男大好物のモンブラン
- #兄の奮り
- #やるやん



にわか編集長コメント

共通の話題が家族であるって幸せだよ。私今、新たに「ゆきちゃん」という娘ができ、血が出るほどのアマガミに幸せを感じています!

第123回

身体に問うてみる

今、割とまじめに取り組んでいる「ダイエット」。それは食べなきゃ満足できない、そんな誤解を解くことから始めました。半年前の自分は、食事で満足するには、ある

程度の量、好きなものを摂取しないと得られないと思い込んでいました。揚げ物、ラーメン、甘いもの、アルコール…糖質、脂質、高カロリー…有害なものばかり食べていたのです。これらをたくさん食べなきゃ満足できない、狂ったように食べ漁ってました。そんな生活をおくる中、ふと気がついたのです。「身体が求めているのではなく、脳が求めているだけ」ということ。妙な話かもしれませんが、胃や腸、消化器に問いかけるのです。「その食べ物(飲み物)、本当に必要か?」と。問うてみると、そんなにいらぬ、むしろ負担になるから減らしてくれと。言うてくるのです。胃腸の声に素直に従ってみると、驚くほど食べる量が減りました。食べなきゃ満足できない、という脳の思い込みを胃腸に問うことで、是正されたのです。すると、素直になった脳は少量でも満足感を感じられるようになったのです。そして、さらに胃腸からの進言は続きます。「揚げ物やめてくれ!脳は反発します。たまには美味しいもの食べたいでしょ?味の濃いもの食べたいでしょ?週末の楽しみを奪うつもりかい?すると、胃腸に臓器の多く、脳以外の身体の大半が加勢します。「翌日だるくなるよ」「朝起きれなくなるよ」「いつかの快樂のために、大半を犠牲にするのってもったいないくない?」どの臓器が言ってるのかは分かりません。だんだんと脳の一種集中体制がゆらぎ、まさに独裁国家から民主主義国家に転換しているかのよう。これは内なる革命です。何を言いたい。ダイエット、減量ということについて、脳、思考だけで考えてはダメで、身体に問うてみる。ダイエットが厳しい、辛いというのは脳だけで考えているから。と、感じるのです。脳だけを意識するから、満足感も偏る。身体に聞けば、何が必要なのか、教えてくれる気がします。今

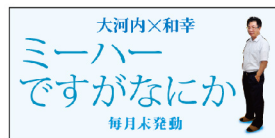


よく食べているものは、トマト/オクラ/ネギ/納豆/豆腐/ワカメ/アオサ/味噌等で、無理して食べていることは全くなく、食べたいから食べています。そして、何より美味しいと感じるようになりました。無理なんか全くしていません。今では、減量ではなく、日々の体調を良くするという、意味で取り組んでいます。食事以外何も変わらない毎日ですが、少しずつ、楽しく充実しているような気持ちになってきました。かつて減量に失敗したのは全てリバウンドです。短期的に体重は落ちるのですが、必ず無理をしていたので、目標達成後、反動がきます。この反動がおそろしく、満足感のハードルが超高くなるのです。というか、我慢していた好物をどんなに食べても満足できないという恐ろしい事態になっていたのです。これこそ、脳が作り出した虚像。頭でっかちダイエットでは上手くいかないことは何度も経験済みです。だからこそ、身体全体に問うてみるのです。自分

の内側に意識を向ける、そこからダイエット、というよりボディデザインが始まります。また、結果を報告したいと思います。

にわか編集長コメント

社内の体重計にまめに乗っているのを見かけます。「自分知る」というのはいいことです。私は疲れたら甘いものを摂るといふ脳になっています。



第123回

神様、仏様、村神様

立浪ドラゴンズになって初めてパンテリンドームへ野球観戦に行く機会を幸運にも得ることができた。対戦相手は広島東洋カープ。ジャイアンツファンの自分にとって、この対戦の勝負の行方に正直あまり関心はないが、久々のドーム観戦にテンションは上がるばかり。いよいよ地下鉄ナゴヤドーム前矢田駅到着というところで聞いたことのある声が…。「中日ドラゴンズの立浪です。パンテリンドームナゴヤはこちらです」なんと立浪和義大先生の車内案内放送だ。名古屋市営地下鉄、中々やるではないか。ただもう少し、竜巻がワクワクするような一言があってもいいような気がしたが、指揮官の声に後押しされて足取りも軽く本拠地へ向かうのもありのように思った。そして改札口を出てからのドームへ向かう左右の壁面は選手紹介やタイトルホルダー、立浪監督コーナーや過去の栄光の歴史などまさにドラゴンズ一色。竜巻にはたまらんだらな。駅の出口からは屋根付きのデッキを

歩けるので、雨が降っても安心。随分と便利になったものだと感心した。そしていよいよ入場。入口の手荷物検査でお茶のペットボトルが持ち込み禁止と言われ、捨てるのもつらいと思ひ、その場で一気に飲み干した。後で聞いた話では、缶やペットボトルの持ち込み禁止は、球場内に投げ込まれる可能性があるとその危険防止なんだとか。中身を別の容器に移し替れば問題ないそうだ。

さて、野球観戦には欠かせないのはやはりお弁当ということで、まずは売店へ直行。つまみ系からガッツリ系まで種類が多すぎて目移りしてしまうが、ここはミーハーの誇りと意地にかけてCBCテレビのドラゴンズ応援番組「サンデードラゴンズ」と矢場とんがコラボした「矢場とんサンドラ弁当」をゲット。パッケージは滝行でドラゴンズの優勝を祈願する我らが若狭敬一アナウンサーがイラストタッチで堂々登場。若狭アナといえば、朝の情報番組「THE TIME」で安住アナと絶妙の掛け合いで話題沸騰中。今や一躍全国区に名乗り出たCBCのエースとして大注目のアナウンサーなのだ。ちなみにこの大河内、以前若狭アナと握手さらに一緒に写真も撮ってもらったこともあって真頂にしている仲？だ。話は逸れたがこのサンドラ弁当、九州産豚肉を使用したこだわりの味噌カツがドーンとメインで居座り、粘り強く勝って欲しいというオクラの肉巻きフライと台湾味噌で味付けしたきんぴらでライバルをごぼう抜きするというゲンを担いで仕上げたこだわりの逸品。少々甘めの味噌だれが食欲をそそるものの、弁当あるあるの完全な冷めた豚カツはやや硬めでちょっとイメージと違ったか。やはり本場矢場とんのお店で出来立てホヤホヤを食べた方が良さそうだと思感した。ただ球場という普段とはまったく違う雰囲気の中で食べるお弁当もたまにはいいものだ。

あともう一つ、通常のテレビ中継では見ることのできない試合前の練習やスタメン発表の演出などは実際に球場に足を運んだ一野球ファンとして純粋に楽しむことができた。さらに試合直前、守備に付く先発の選手たちが帽子をとって壘審の皆さんに礼儀正しく挨拶をしていることに驚き、感心した。このようなシーンは見ても気持ちが良いし、ぜひ自分も参考にしたいと思ったほどだ。肝心の試合だが、この日は投手戦でホームランも無く、1点をどちらが先取るかの緊迫した試合展開だった。結果的にドラゴンズのスクイズによる得点で逃げ切ったわけだが、見る方としては点の取り合いになる乱打戦の方が面白いことはよく言われることだ。ただ1ヒットだけでも球場全体が沸く瞬間は絶対にテレビ観戦で味わうことはできず、久しぶりにライブで野球観戦を楽しめた。ジャイアンツも含め、優勝争いから脱落してしまった両チームだが、今年は東京ヤクルトスワローズの村神様こと村上宗隆選手が大ブレイク。松井秀喜さん以来、20年ぶりとなるシーズン50本塁打を軽く越え、聖域と言われる王貞治さんの55本、NPB記録の60本、さらにはこれまで7人11例しかない「三冠王」の可能性も十分に出てきた。今年のプロ野球界は多くのノーヒットノーランや完全試合も出るなど投手のレベルが明らかに上がる中、村上選手の活躍は一層際立ってくる。18年ぶり令和初の三冠王へ向けて、村神様がまさに歴史的な数字を残してまっしぐら。まだまだ熱盛満載なプロ野球から今日も目が離せない。

にわか編集長コメント

中日戦は結果のみチェック！負けた日は「こんだけ打たなきゃ負けるよね」勝った日は「こんなに打ったら明日絶対打たんじゃ」と心で思っています。中日にも神様欲しいよね。

一に日は道

水野 順也

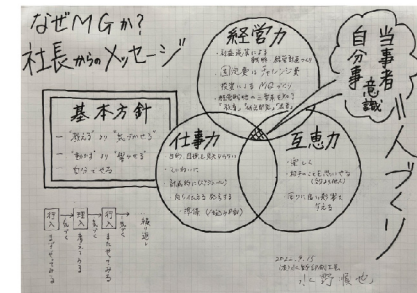
第122回

久々にMGネタ

マネジメントゲームでの1番の醍醐味は？と言われれば、まずは行入、理入と答える。これで気づいたのだ。「行入」とはまずやってみること。経験のないことをやってみるということだ。これは誰でも通る道ではあるが、大抵はうまくいかない。やったことがないのだから当然である。次に「理入」、まずやってみて、何がいけなかったのか考えることである。初歩段階において反省はしなくても良いと思う。できることをしてできなかった場合に反省というからだ。そして「行入」、またやってみる。そして理入で反省してみる。この繰り返しだ。偉人たちが口を揃えて伝えるのは、「失敗から学ぶ」「成功の陰には必ず失敗がある」ということだ。さらに読み解けば、チャレンジ無くして成功なし。やってみない人には何も訪れないと思う。自分はやってないことをやってみるのが比較的好きだ。全てではないけれど、その先に何かいいことがありそうなチャレンジは積極的にいきたいと思っている。今まで大した結果は出せていないが、確かに自分の糧となったチャ

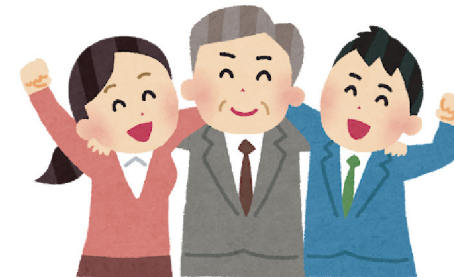


レンジは結構ある。MG研修も続けてこそ意義があるし、その都度気づきも多い。気づきがまた次の行動につながる。物事の原点はその「気づける自分」であることではないだろうか？最後に野村克也氏の言葉「人生最大の敵それは鈍感である」



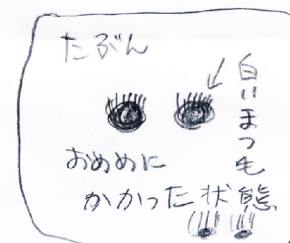
にわか編集長コメント

アクティビティなことがしたい！運動音痴の私は10年ほど前決心した。しかし、股関節痛が酷くなり断念。しかし、今年蘇った私はまたアクティビティなことがしたいと思う。

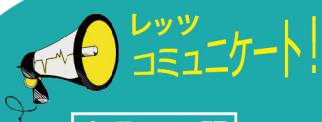


ゆる4コママンガ 作：浩子

中まちゃん2



のランチは「アジフライ定食」。いかにも喫茶店らしいメニューもたくさんありましたが、店員さんからの「アジフライが超絶オススメオーラ」を感じ取り3人揃ってオススメをオーダー。フライにかかったピリ辛のソースがあまりにも美味しすぎたのですが、これこそが老舗の人気の秘密なのかも！？（足立）



今月のお題

食欲の秋に 食べたいものは？



焼きいもアイヌ



鬼まんじゅう



焼きいも



紅芋タルト



いも娘



ステートポテト

社長と行こう！ KOSSORI-SHOKUDO



ぼぎい

with 山本・足立

蒲郡の住宅街に、これぞ「ザ・喫茶店」を発見。民家のような外観とは裏腹に、店内はシックな雰囲気です。この日

おだちペン
のんカフェ
2022.9.10 Sat.
file.75
SECOND HOUSE

緑のロンビンバスが、そのまま Cafe & Bar に
なるとはとってもかっこいいお店。あまり見かけない
お酒も置いてるので、いろいろ試してみるのが◎



サクサクジュースからあげや
ポテトなど、基本のおつまみ
はもちろんだ。個人的には
サッポロのロスタが
すごく美味くて好き!!
スタッフさんも、お客様も
いい感じの「かっこいい」で、とても
雰囲気の良いお店です◎

OPEN 17:30-23:00 (週末のみ営業)
台 西尾市本町22番地 Pあり
*ご予約はLINEからの方が◎!!

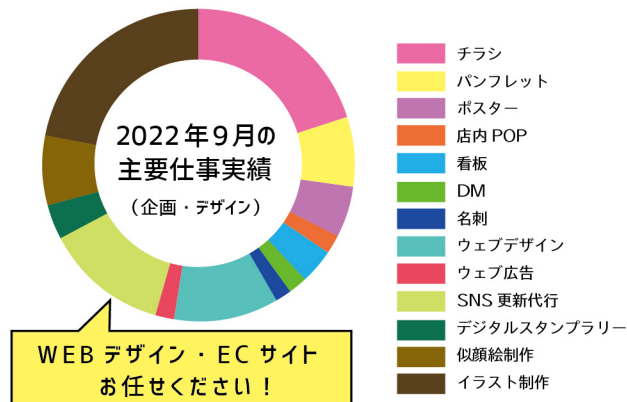
にわか編集長
コメント

お酒を飲みに行くということがない私。家で韓国の緑の瓶のお酒をクイツと飲むのが結構楽しみ。でも外飲みもチャレンジしてみようかな!

今月の 八百万百景

五井山からの夕日
撮影者：山本兼佑

秋らしく涼しくなってきましたね! 秋は山に登りたくなります。蒲郡も低いながらもガッツリ楽しめる山がありますよ。

今月の

にわか編集長

編集後記も持ち回り制!

風が吹いていい季節がやってきそうな気もするのですが、10月中旬まではまだまだ暑いみたいですね。季節の変わり目、体に気をつけましょう。

水野浩子